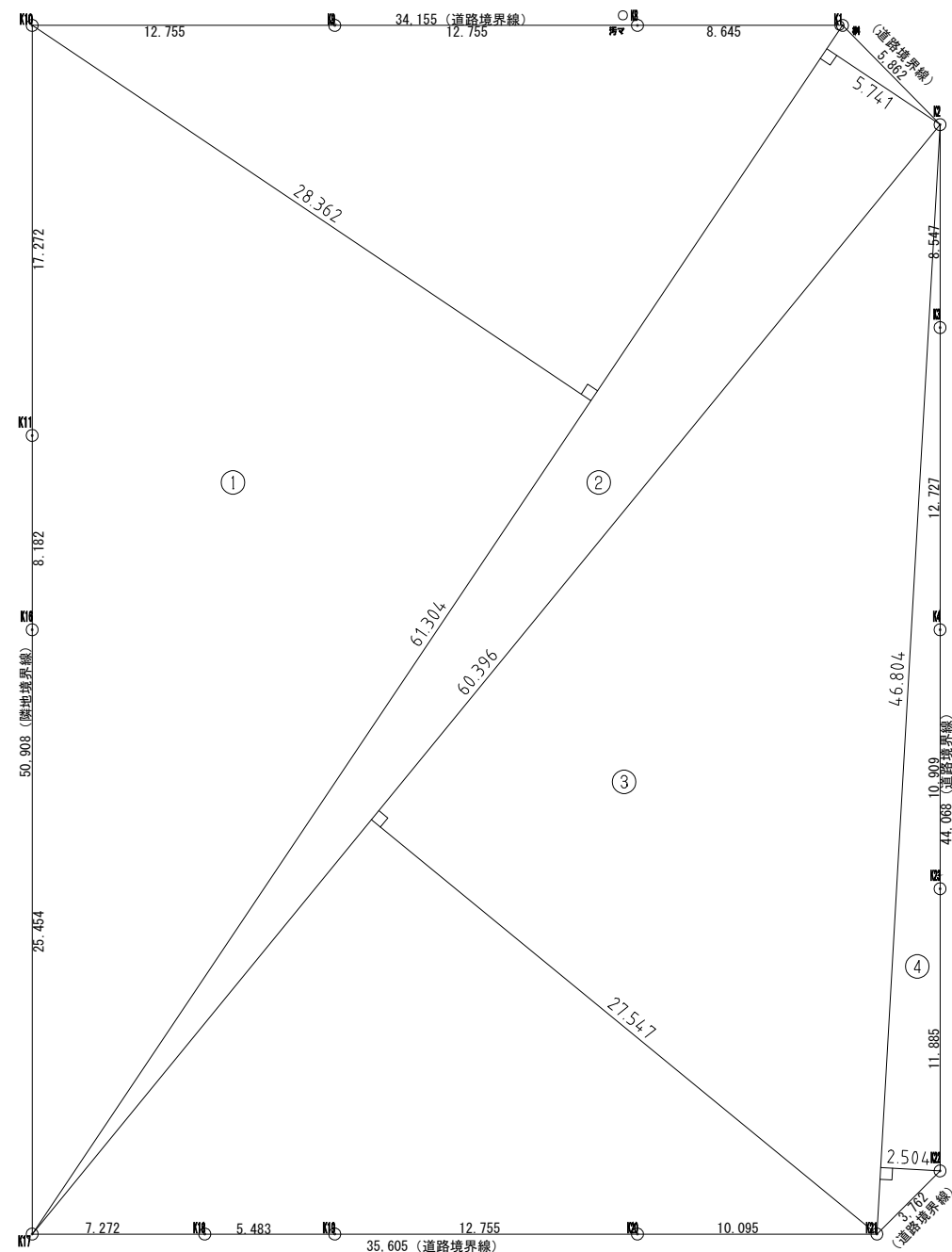


- * 凡例
- 1 : [***]は計画レベルを示す (計画レベル±0=設計G L 73.66を示す)
- 2 : (***)は現況レベルを示す (現況レベル±0=設計G L 73.66を示す)
- 3 : 雨水処理は、敷地内で行う

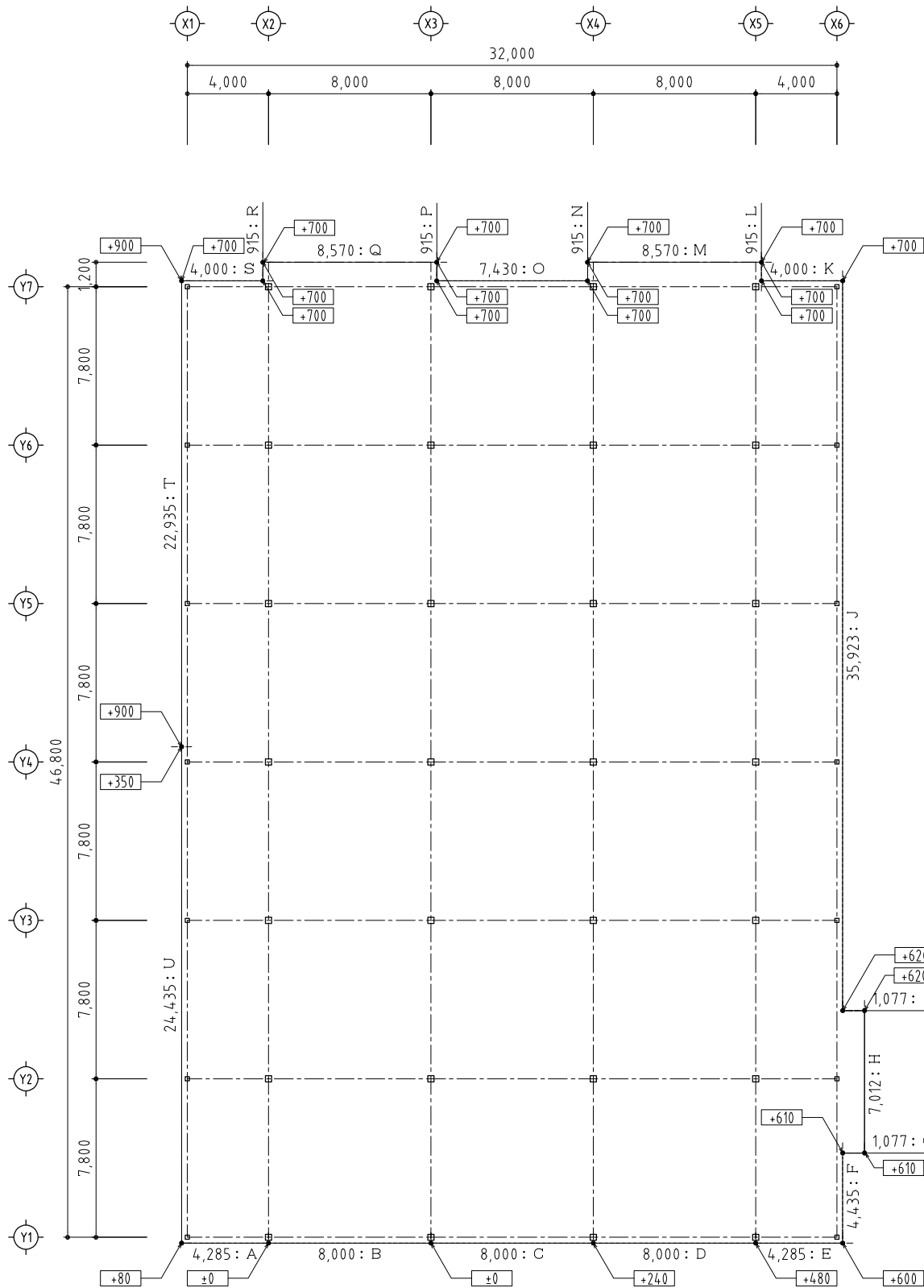
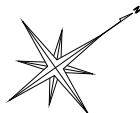
事業名	北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業	コムズ・司・清和共同企業体	代表者 (株) コムズワーク	一級建築士事務所登録 (石) 4638号	管理建築士	竹ノ内 久	担当	検 図	担当建築士	縮 尺	工 事 名		図面番号
					一級建築士登録	第200222号					A-1	1/150	
					意匠図担当建築士	アルファコート株式会社 館本 和法	設計年月日	R8. 02				図 面 名	
					一級建築士事務所登録 (石) 5189号	一級建築士登録 第339203号				A-2	全体配置図・附近見取図		A - 01
										A-3	1/300		



敷地求積図

敷 地 面 積		
符号	計 算 式	面 積 (m ²)
①	61.304 × 28.362	1738.704
②	61.304 × 5.741	351.946
③	60.396 × 27.547	1663.728
④	46.804 × 2.504	117.197
倍面積		3871.575
1/2面積		1935.7875
改め		1935.78

[illegible]

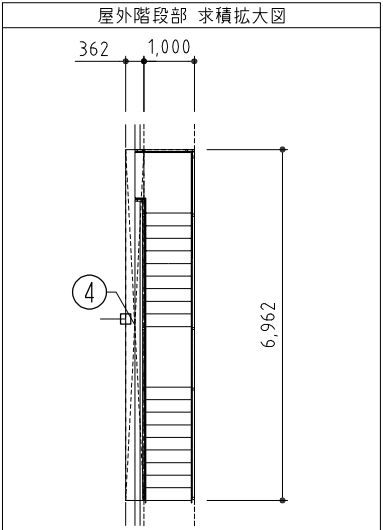
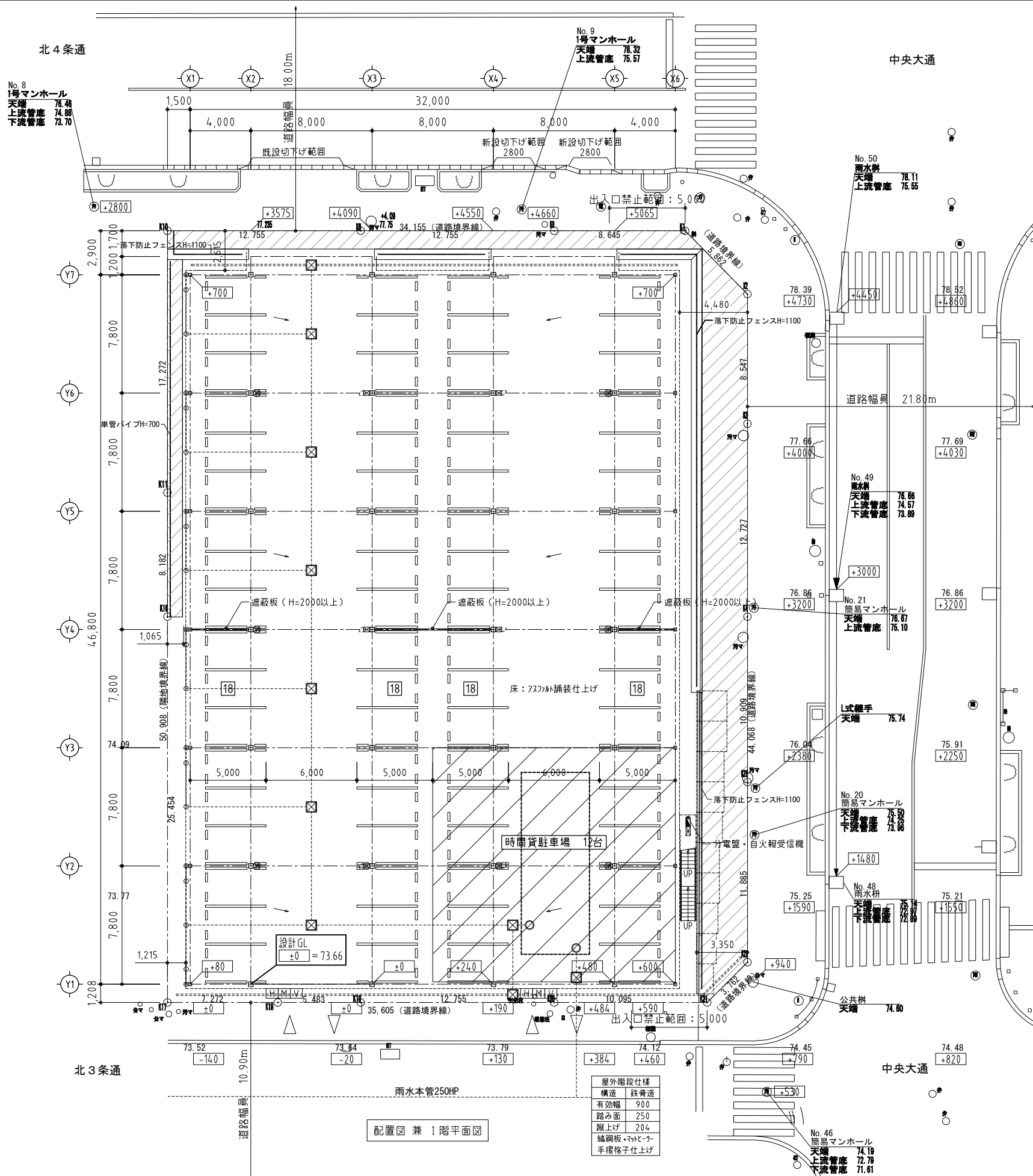


平均地盤算定図

- A : $4.285 \times 0.080 \div 2 = 0.1714$
 - B : $8.000 \times 0 = 0$
 - C : $8.000 \times 0.240 \div 2 = 0.96$
 - D : $8.000 \times (0.240 + 0.480) \div 2 = 2.88$
 - E : $4.285 \times (0.480 + 0.600) \div 2 = 2.3139$
 - F : $4.435 \times (0.600 + 0.610) \div 2 = 2.683175$
 - G : $1.077 \times 0.610 = 0.65697$
 - H : $7.012 \times (0.610 + 0.620) \div 2 = 4.31238$
 - I : $1.077 \times 0.62 = 0.66774$
 - J : $35.923 \times (0.620 + 0.700) \div 2 = 23.70918$
 - K : $4.000 \times 0.700 = 2.8$
 - L : $0.915 \times 0.700 = 0.6405$
 - M : $8.570 \times 0.700 = 5.999$
 - N : $0.915 \times 0.700 = 0.6405$
 - O : $7.430 \times 0.700 = 5.201$
 - P : $0.915 \times 0.700 = 0.6405$
 - Q : $8.570 \times 0.700 = 5.999$
 - R : $0.915 \times 0.700 = 0.6405$
 - S : $4.000 \times 0.700 = 2.8$
 - T : $22.935 \times (0.900 + 0.350) \div 2 = 14.334375$
 - U : $24.435 \times (0.350 + 0.080) \div 2 = 5.253525$
- 合計距離 = 165.694m 合計面積 = 83.303645m²
平均地盤面 = $83.303645 \div 165.694 = 0.502755953 \dots \rightarrow 0.50m$
= 設計GL+500

特記なき限り下記とする
1。設計GL = +0 = 73.66
*** 内の数値は設計GLからの仕上げレベルを示す

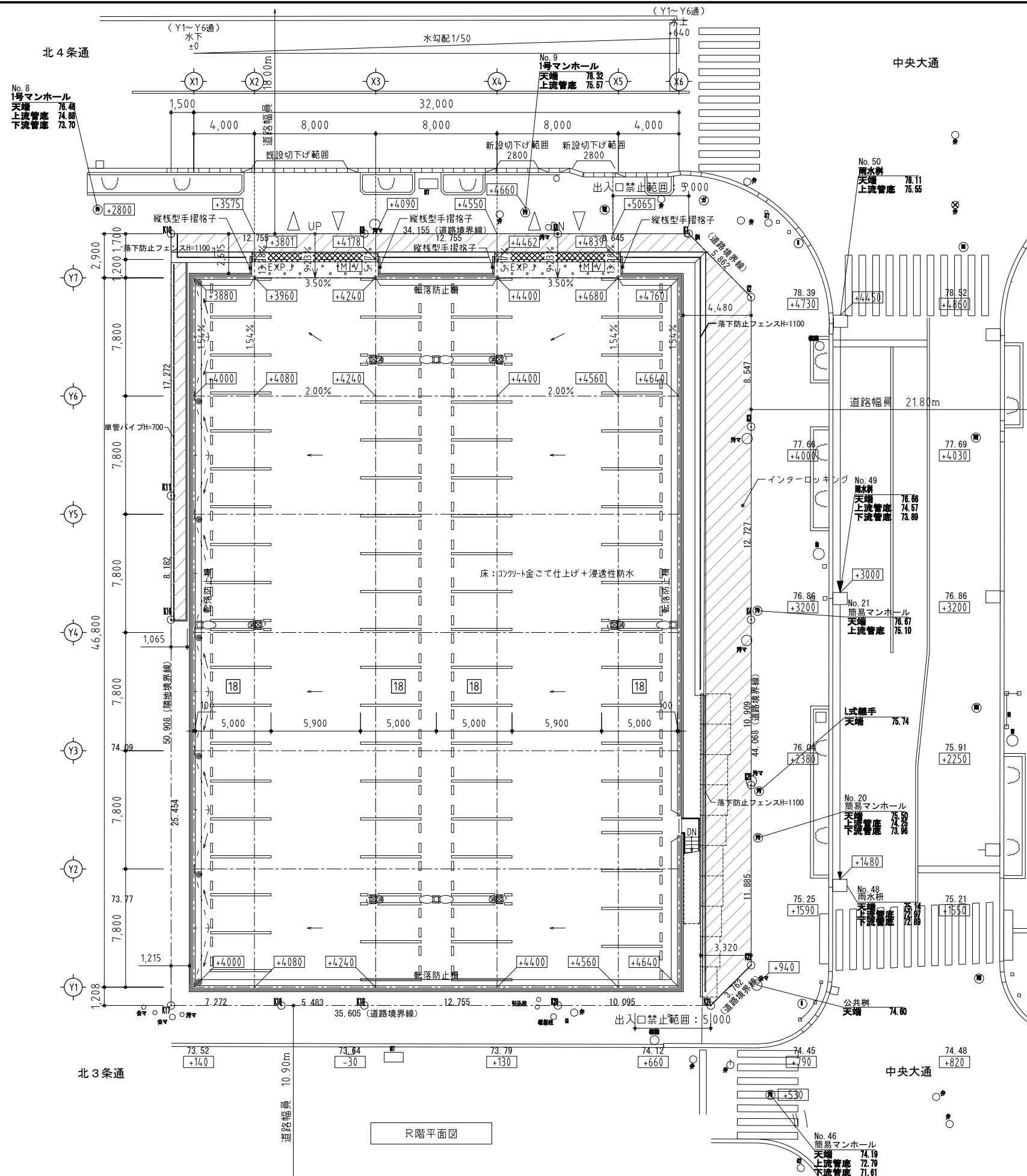
事業名	北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業	コムズ・司・清和共同企業体 代表者（株）コムズワーク 一級建築士事務所登録（石）4638号	管理建築士 一級建築士登録	竹ノ内 久 第200222号	担 当	検 図	担当建築士	縮 尺		工 事 名 (仮称)北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業 立体駐車場棟	図面番号 A - 04
			意匠図担当建築士 一級建築士事務所登録（石）5189号	アルファコート株式会社 館本 和法 一級建築士登録 第339203号	設計年月日 R8. 02	用紙	A-1	1/150	図 面 名 平均地盤算定図		
						ズ	A-2			A-3	



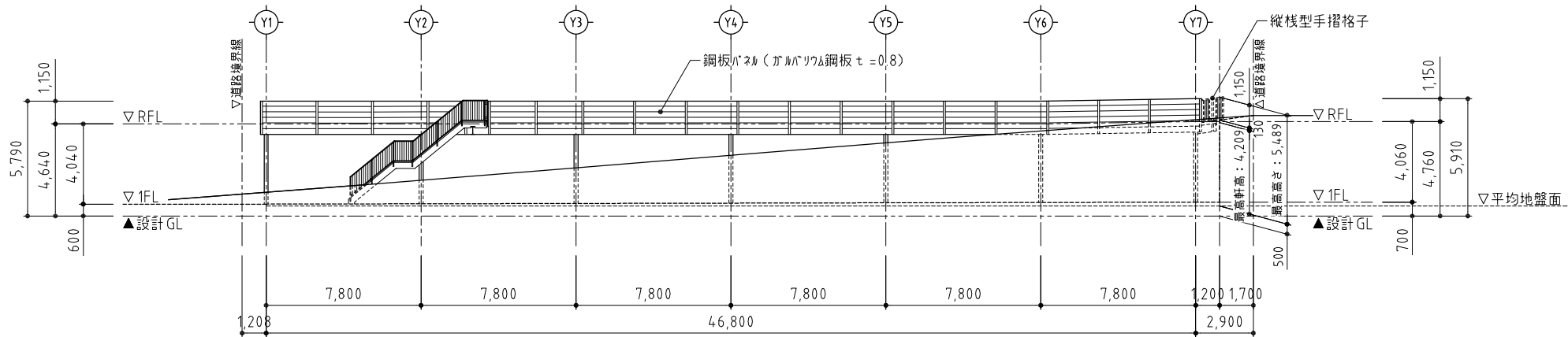
- < 凡 例 >
- [H] : 高さ制限標識 (高さ制限 2.1m以下)
 - [M] : 重量制限標識 (車両総重量 2.5t 以下)
 - [V] : 速度制限標識 (速度制限 8km/h以下)
 - — : 車止め (コンクリート製)
 - [X] : 第3種移動式粉末消火設備 (ABC型33kg)
 - [X] : 第3種移動式粉末消火設備 (ABC型33kg/ガード付)
 - ⑩ : ABC粉末10型消火器
 - : 縦樋 (SGP管100A/特記部分は除く)
 - : ドリ (100A用/特記部分を除く)
 - : 屋上照明灯 (1灯用 100A用)
 - : 屋上照明灯 (2灯用 100A用)

- 特記なき限り下記とする
- 有効車室寸法: (普通車) 2500×5000
 - 適用車種: 車両総重量2.5t 以下
 - 設計GL = ±0 = 73.66
平均地盤面 = 設計GL+870
[xxx] 内の数値は設計GLからの仕上げレベルを示す
 - 転落防止柵 (312.5kN) 設置とする
 - 鉄骨部材は全て 溶融亜鉛めっき仕上げ とする
 - 手摺は 鋼板リブ (ガルバリウム鋼板 t=0.8・不燃材)
 - 移動式粉末消火設備、自動火災報知設備設置

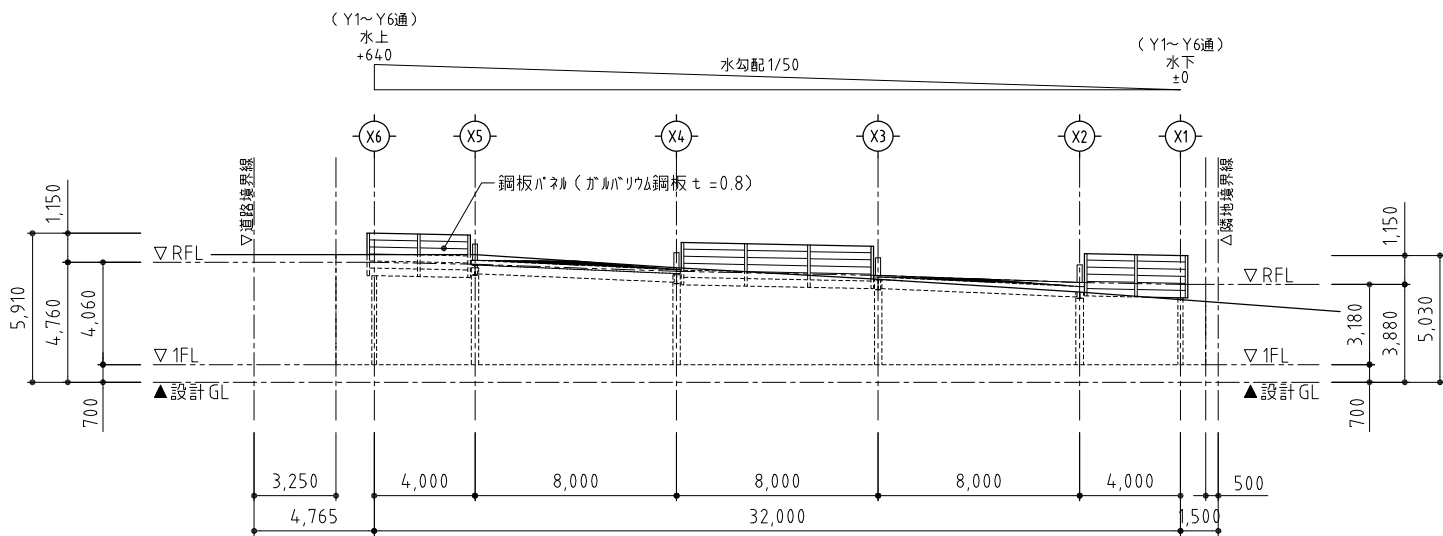
事業名	北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業	コムズ・司・清和共同企業体	代表者（株）コムズワーク	一級建築士事務所登録（石）4638号	管理建築士	竹ノ内 久	担 当	検 図	担当建築士	縮 尺		工 事 名 (仮称)北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業 立体駐車場棟	図面番号 A - 05
					一級建築士登録	第200222号				用紙サイズ	A-1		
					意匠図担当建築士	アルファコート株式会社 館本 和法		設計年月日 R8. 02	A-2		図 面 名 配置図兼 1 階平面図		
					一級建築士事務所登録 第(石)5189号	一級建築士登録 第339203号	A-3		1/300				



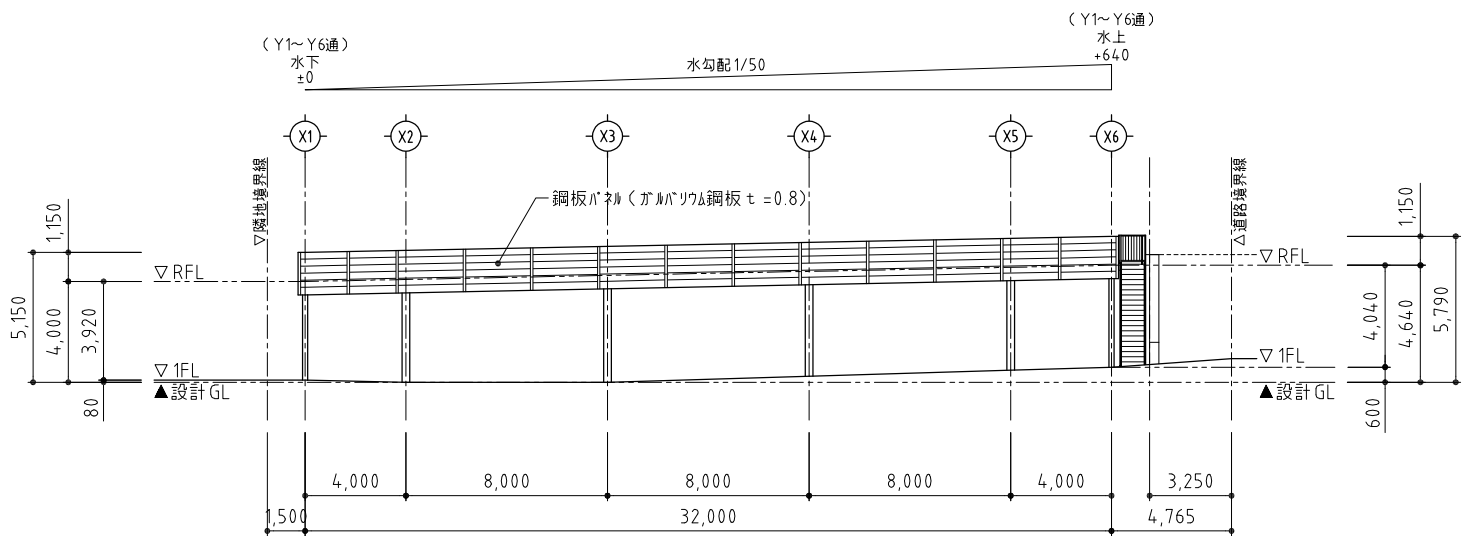
- 特記なき限り下記とする
1. 有効車室寸法：（普通車） 2500×5000
 2. 適用車種：車両総重量2.5t 以下
 3. 設計 $GL = \boxed{+0} = 73.66$
平均地盤面＝設計 $GL + 870$
 $\boxed{\times\times\times}$ 内の数値は設計 GL からの仕上げレベルを示す
 4. 転落防止柵（312.5kN）設置とする
 5. 鉄骨部材は全て 溶融亜鉛めっき仕上げ とする
 6. 手摺は 鋼板パネル（ガバツツ）鋼板 $t = 0.8 \cdot \text{不燃材}$
 7. 移動式粉末消火設備、自動火災報知設備設置



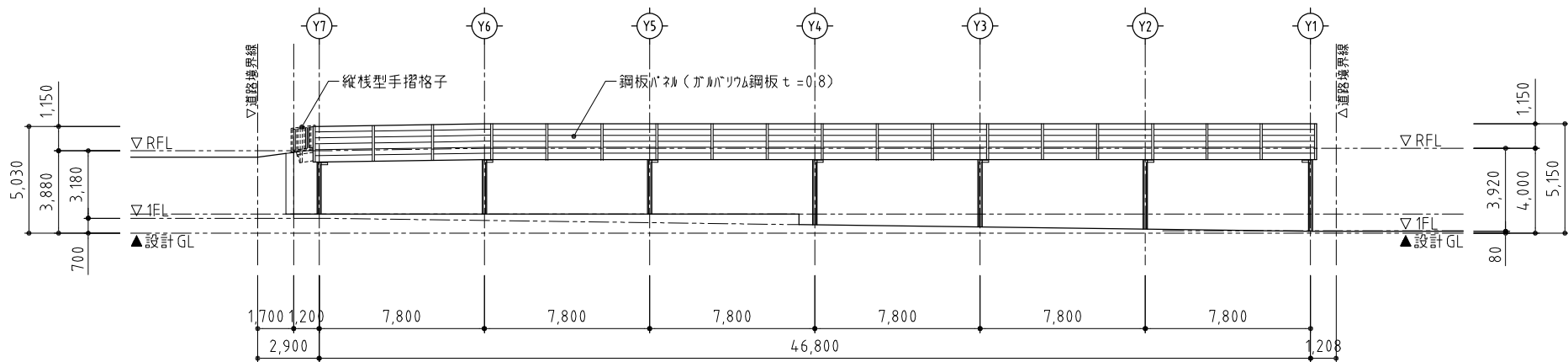
北側 立面図



西側 立面図



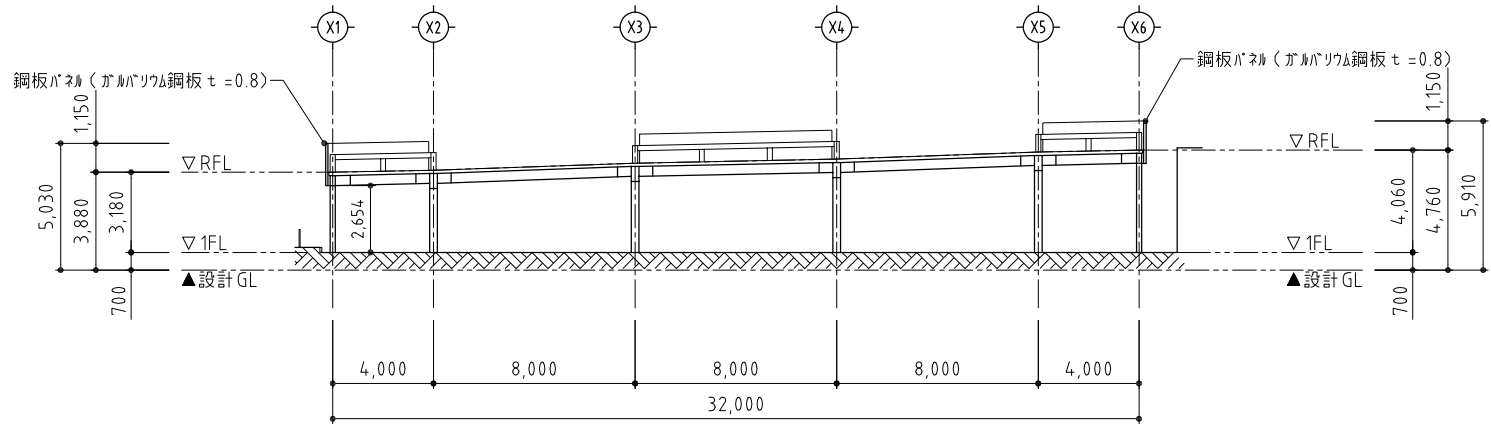
東側 立面図



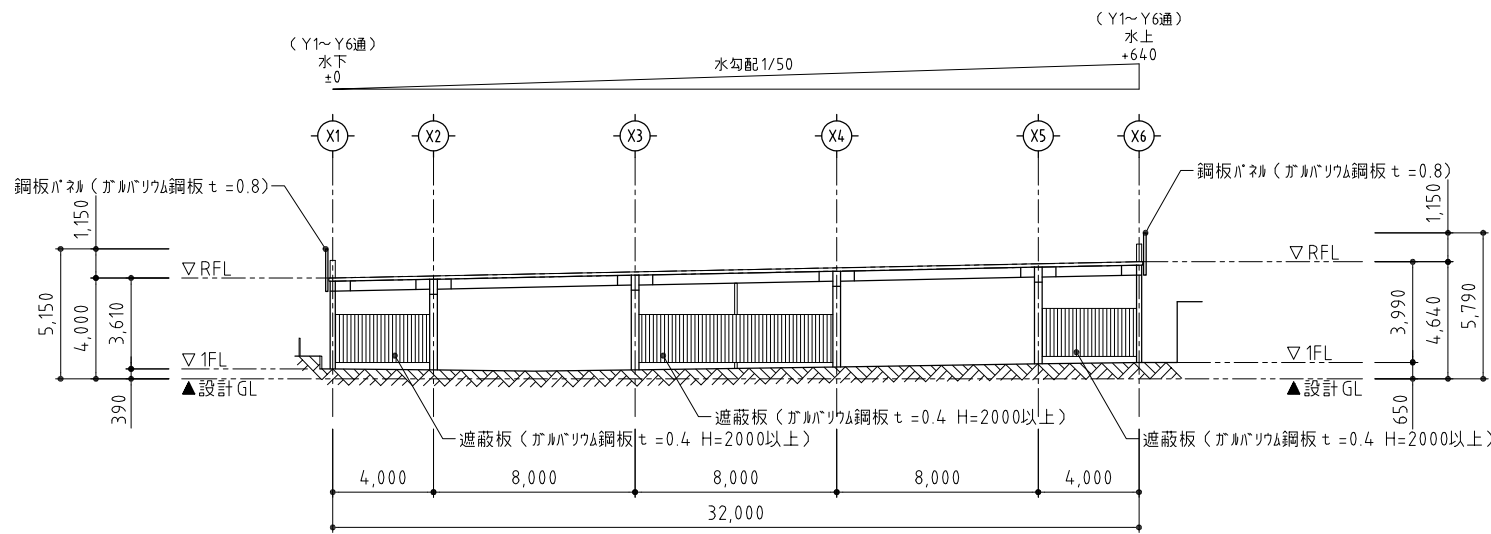
南側 立面図

※道路斜線検討について明らかに余裕があるため、斜線の記載は省略する。

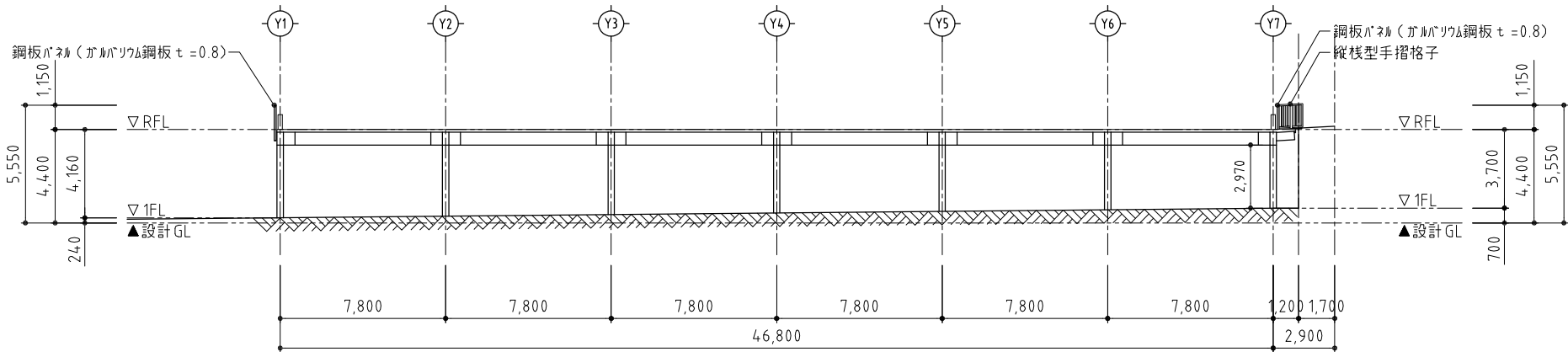
事業名	北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業	コムズ・司・清和共同企業体	代表者（株）コムズワーク	一級建築士事務所登録（石）4638号	管理建築士	竹ノ内 久	担 当	検 図	担当建築士	縮 尺			工 事 名 (仮称)北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業 立体駐車場棟	図面番号 A - 07
					一級建築士登録	第200222号				用紙サイズ	A-1	1/150		
					意匠図担当建築士	アルファコート株式会社 館本 和法		設計年月日 R8. 02	A-2		図 面 名 立面図			
					一級建築士事務所登録	第(石)5189号	一級建築士登録		第339203号	A-3		1/300		



Y7通 断面図



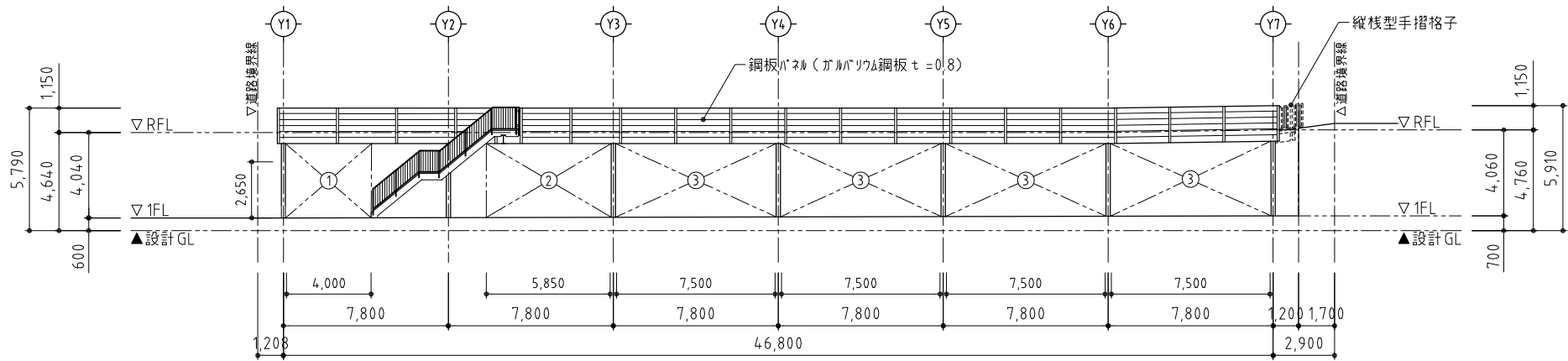
Y4通 断面図



X4通 断面図

仕 様	
床仕様	1階床：アスファルト舗装仕上げ
	R階床：コンクリート山土80（膨張材混入）金こて仕上げ＋浸透性防水
	20-ア床：コンクリート山土80（膨張材混入）輪型工法＋刷毛引き仕上げ
	異型鉄筋：D10-@200（大梁上補強筋）
	合成スラットプレート（Z12）：t=12、h=50
手摺仕様	外周面：鋼板ハネ t=0.8曲げ加工（不燃材NM-8697）
	20-ア：縦桎型手摺格子（φ13-@110）

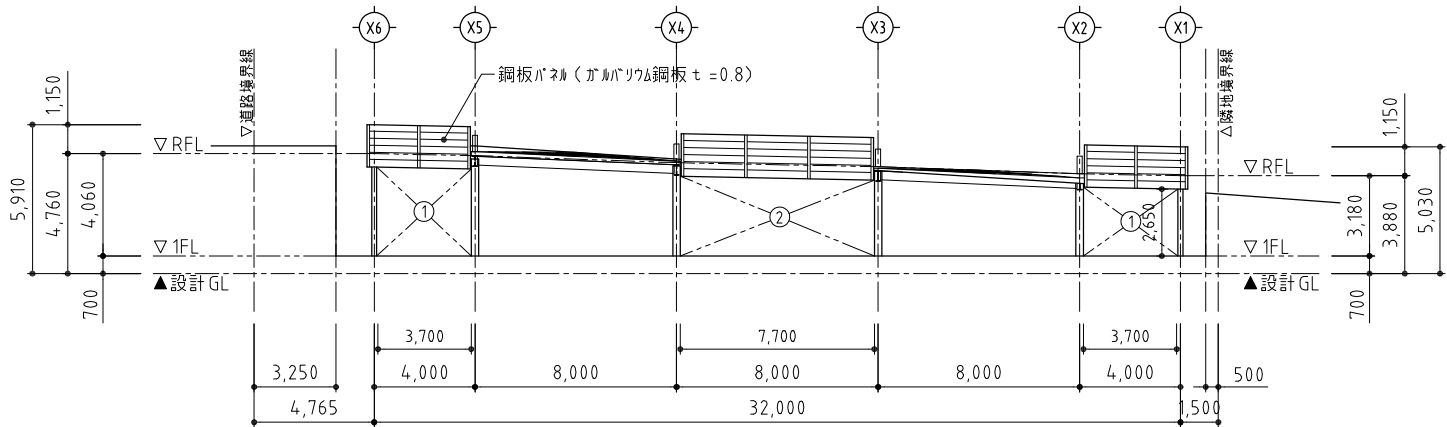
事業名	北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業	コムズ・司・清和共同企業体 代表者（株）コムズワーク 一級建築士事務所登録（石）4638号	管理建築士 竹ノ内 久 第200222号 一級建築士登録 意匠図担当建築士 アルファコート株式会社 館本 和法 一級建築士事務所登録（石）5189号 一級建築士登録 第339203号	担 当 検 閲 担当建築士 設計年月日 R8. 02	縮 尺		工 事 名 （仮称）北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業 立体駐車場棟	図面番号 A - 08
					用 統	A-1 1/150		
					サ イ ズ	A-2 A-3 1/300		



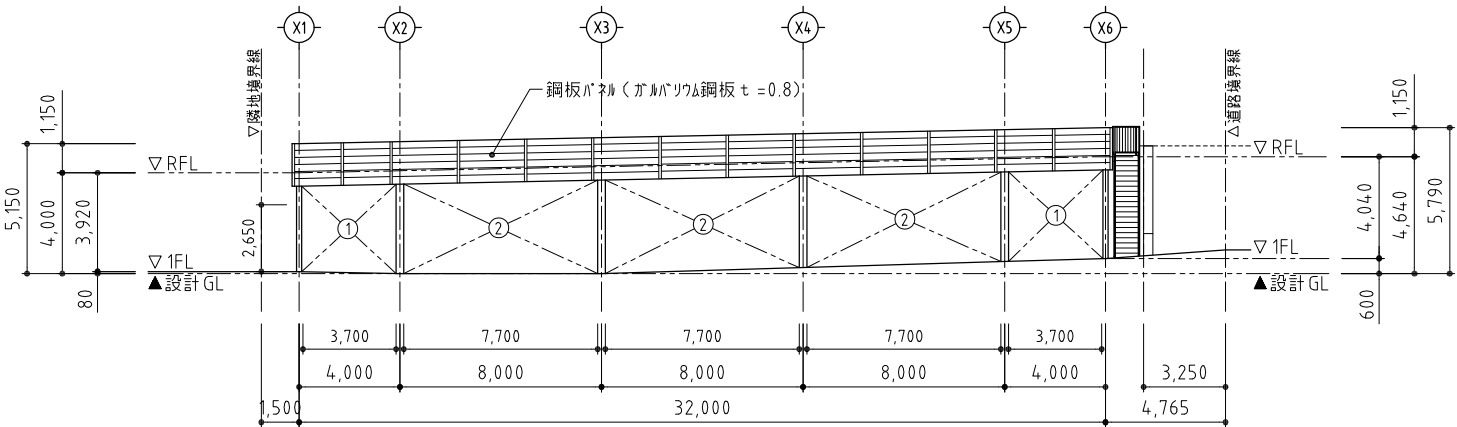
北側 開口算定図

北側 側面開口面積算定

開口部面積算定 (m2)		
①	4.000 × 2.650	10.600
②	5.850 × 2.650	15.5025
③	7.500 × 2.650	19.875



西側 開口算定図



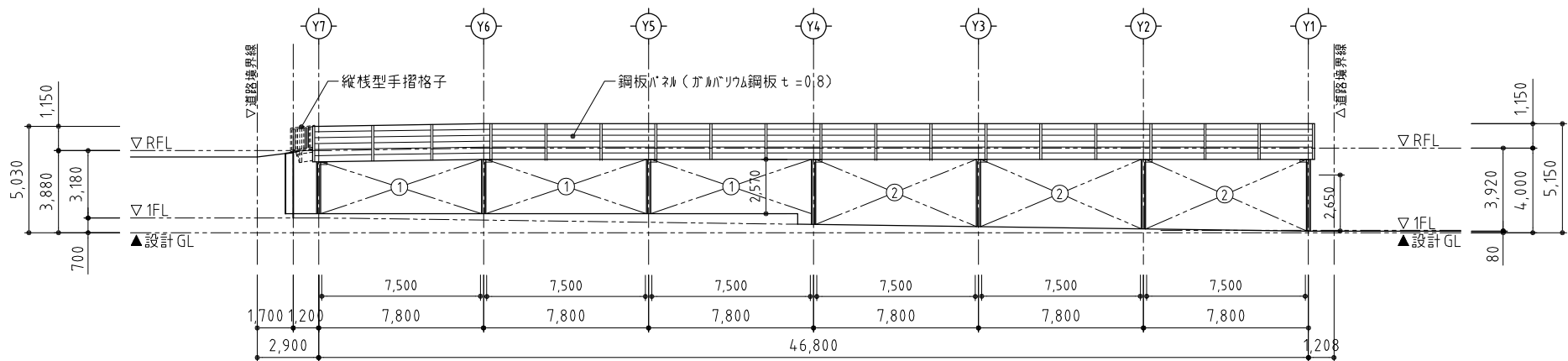
東側 開口算定図

西側 側面開口面積算定

開口部面積算定 (m2)		
①	3.700 × 2.650	9.805
②	7.700 × 2.650	20.405

東側 側面開口面積算定

開口部面積算定 (m2)		
①	3.700 × 2.650	9.805
②	7.700 × 2.650	20.405



南側 開口算定図

南側 側面開口面積算定

開口部面積算定 (m2)		
①	7.500 × 2.570	19.275
②	7.500 × 2.650	19.875

開口算定条件

- 有効開口幅は柱芯から外周部の最大柱幅(□-300×300)を除いた長さとしします。
- 開口高さについては、不利側の高さを採用します。

開放性チェック

開口面積（㎡）		
1階	（北側）①＋②＋③×4	105.6025
	（東側）①×2＋②×3	80.825
	（南側）①×3＋②×3	117.45
	（西側）①×2＋②	40.015
合 計		343.8925
343.8925㎡÷1516.80㎡×100＝22.67%＞5%・・・O.K		

無窓階チェック

開口面積（㎡）		
1階	（北側）－	－
	（東側）①×2＋②×3	80.825
	（南側）－	－
	（西側）－	－
合 計		80.825
1516.80㎡×1/30＝50.56㎡＜80.825㎡・・・O.K		

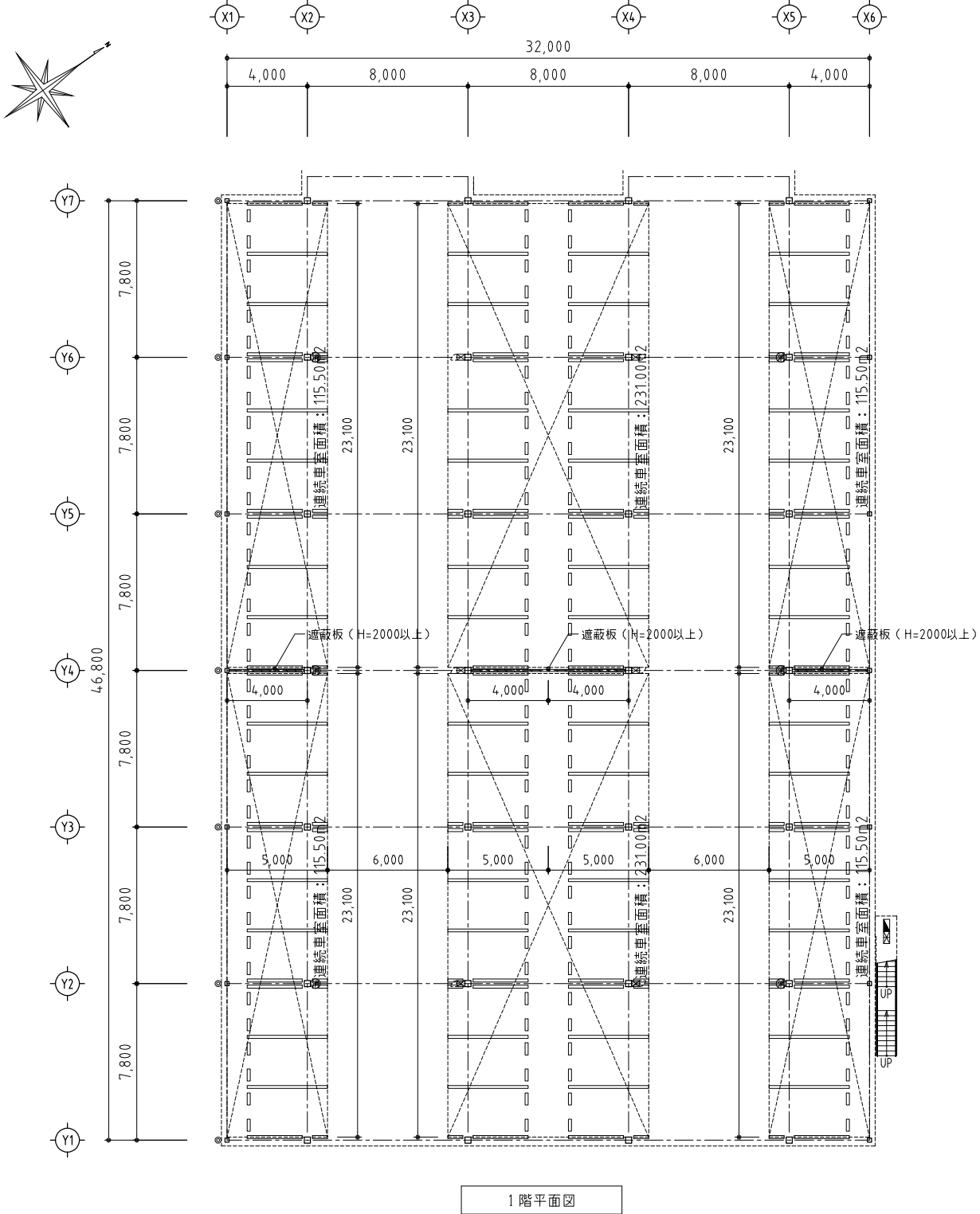
開放性の確保について → 平成14年「独立した自走式自動車車庫の取扱いについて」（国土交通省住宅局建築指導課・日本建築行政会議）適合）
（1）各階における外周部の上部50cm以上の部分が常時外気に直接開放されている。・・・O.K
（2）外周部の上部の常時外気に開放されている部分の面積が各階床面積の5%以上である。・・・O.K
（3）短辺の長さが55m以内である。・・・O.K
移動式消火設備の設置について → H2消防予第129号第1項ただし書きの規定により消防予第84号適合
（1）四辺の上部50cm以上の部分が常時外気に直接開放されている。・・・O.K
無窓階チェック → 普通階
（1）各階の床面からの高さ1.2m以内に、直径1m以上の円が内接することができる開口部が2以上ある。・・・O.K
（2）各階の有窓階判定に有効な開口部分の面積が各階床面積の1/30以上である。・・・O.K

【独立した自走式自動車車庫の取扱いについて】（以下「事務連絡」と記載）

項 目	条 件	判定	備 考
1 独立した2階建以下の自走式自動車車庫の建築基準法における取扱いについて			
(1)法第26条及び27条、建築基準法施行令第109条の3について		O.K	
・法第2条第九号の三及び建築基準法施行令第109条の3第二号に適合する準耐火建築物とすること	柱、梁：不燃材料	O.K	
ただし、(2)の開放性を確保するため、外壁の開口部の防火設備を設けない構造とすること	その他の主要構造部：準不燃材料	O.K	外壁無し（手摺設置）
・隣地境界線又は同一敷地内の他の建築物と外周部との距離	50cm以上	O.K	配置図兼1階平面図参照
・隣地境界線等との距離が50cm以上1m未満の場合	高さ1.5m以上	－	該当なし
	準不燃材料（高さ0.5m以上の部分）	－	該当なし
(2)法第61条について		O.K	
1.各階における外周部の上部50cm以上の部分が常時外気に直接開放されていること		O.K	
外周部の上部の常時外気に開放されている部分の面積が各階床面積の5%以上であること		O.K	法規Fig7図参照
2.短辺の長さを55m以内とすること		O.K	46.80m
(3)法第64条について		O.K	
・開放性を確保するため、外壁の開口部の防火設備を設けない構造とすること		O.K	
(4)令第112条第1項について		O.K	
・車路（幅3.5m以上）、外周部又は遮へい板により区画される車室スペース	4.00㎡以内	O.K	左図参照（最大231.00㎡）
	長辺の長さ4.0m以内	O.K	左図参照（最長23.10m）
・遮へい板	幅4m以上、高さ2m以上	O.K	
	準不燃材料（高さ0.5m以上の部分）	O.K	GL鋼板 t=0.4（NM-8697）
・階高2.8m以下の場合	外周部に50cm以上の垂れ壁等設置	－	該当なし（階高3.05m以上）
	準不燃材料	－	該当なし

【北見市建築基準法施行条例 第3章 第4節 自動車車庫及び自動車修理工場】

条数	条文	判定	備考
第24条	この節の規定は、床面積の合計が50平方メートル以下の自動車車庫には、適用しない。	適用される	床面積1516.80㎡
第25条	車庫等の敷地の自動車の出入口は、次の各号のいずれかに該当する箇所に設けてはならない。	O.K	
(1)	幅員6メートル未満の道路	O.K	東側10.90m、西側18.18m
(2)	交差点又は曲がり角からの距離5メートル以内の箇所	O.K	平面図参照
(3)	踏切からの距離10メートル以内の箇所	O.K	
(4)	前3号のほか、市長が交通上支障があると認めて指定した箇所	－	
第26条	自動車修理工場で自動車の出入口が道路に面するものは、その出入口の前面に奥行4メートル以上の空地を設けなければならない。	該当しない	自動車修理工場ではない
第27条	床面積の合計が100平方メートルを超える車庫等で次の各号のいずれかに該当するものは、その主要構造部及びその下階の部分の主要構造部を「時間準耐火構造」としなければならない。	－	事務連絡適用
(1)	直上に2以上の階を有するもの	－	
(2)	直上に床面積の合計が100平方メートルを超える住戸又は住室を有するもの	－	
(3)	避難階以外の階にあるもの	－	
2	主要構造部が準耐火構造でない車庫等で直上階に居室を有するものは、その天井及び壁を不燃材料で仕上げなければならない。	該当しない	居室なし
3	車庫等の構造設備は、次に定めるところによらなければならない。	O.K	
(1)	床及びビットは、耐水材料で造り、汚水排除の設備を設けること。	－	協議中
(2)	直接外気に接する適当な換気口又はこれに代わる設備を設けること。	O.K	直接外気に接する換気口に適合
(3)	法第22条第1項の区域内においては、外壁の窓又は出入口のうちで延焼のおそれのある部分には、法第2条第9号の2口に規定する防火設備を設けること。	該当しない	区域外
第28条	建築物の一部に車庫等を設ける場合は、次に定めるところによらなければならない。	該当しない	車庫のみ
(1)	自動車修理工場の部分とその他の部分とは、準耐火構造の壁で区画し、開口部には、法第2条第9号の2口に規定する防火設備を設けること。	－	
(2)	車庫等の床及び天井には、その他の部分に通ずる開口を設けないこと。	－	



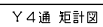
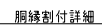
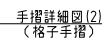
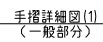
1 階平面図

北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業

コムズ・司・清和共同企業体

代表者（株）コムズワーク 一級建築士事務所登録（石）4638号

管理建築士 一級建築士登録		竹ノ内 久 第200222号	担 当	検 閲	担当建築士	縮 尺		工 事 名 (仮称)北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業 立体駐車場棟		図面番号	
					意匠図担当建築士 一級建築士事務所登録 第(石)5189号 一級建築士登録 第339203号	設計年月日 R8. 02	用紙サイズ	A-1	1/150	図 面 名 法規チェック図（2）	A - 10
							A-2				
							A-3	1/300			



北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業

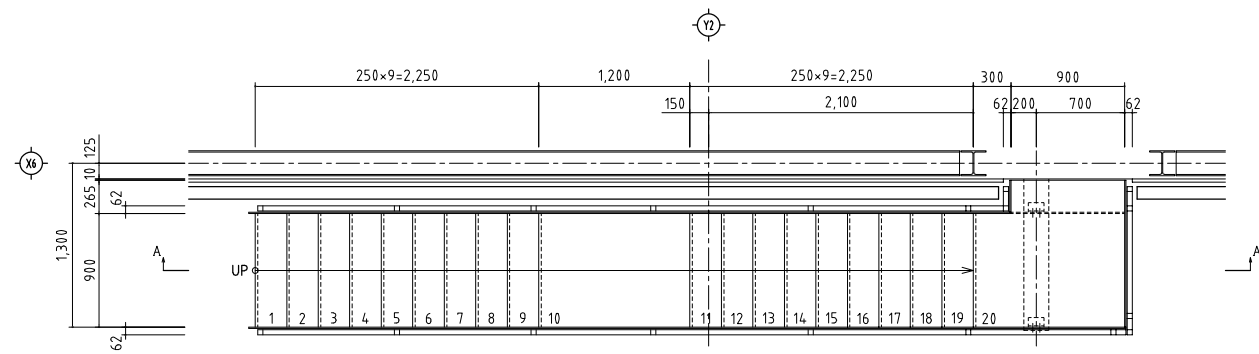
代表者（株）コムズワーク 一級建築士事務所登録（石）4638号

担当建築士	
設計年月日	R8. 02

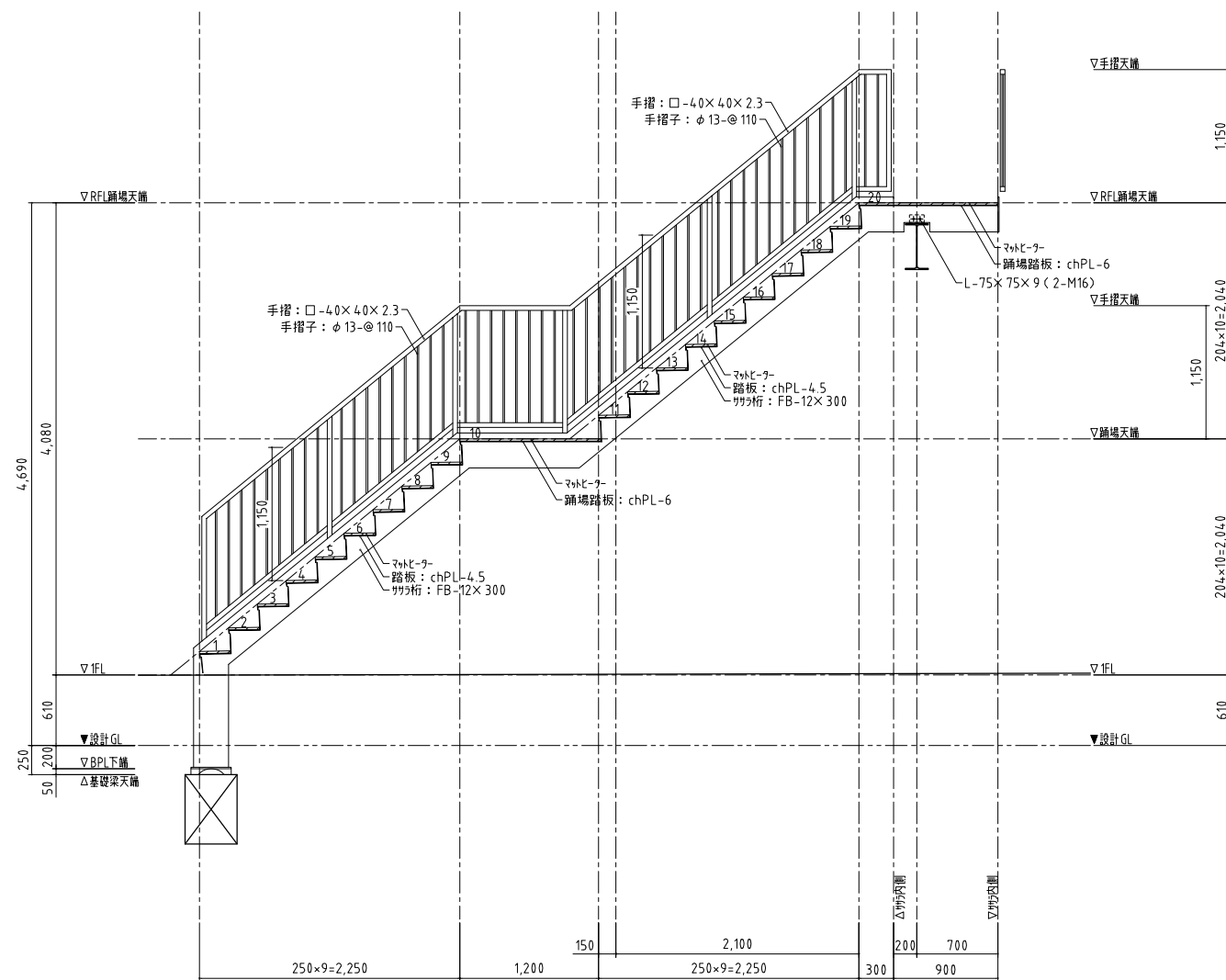
工 事 名	(仮称)北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業 立体駐車場棟
図 面 名	矩計図

面番号

A - 11



平面図



A矢視図

